

山田木管工業所

岐阜県山県市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

学生のインターンシップ制度を活用して、 社内の活性化、商品開発など新しい担い手 創出事業に取り組む

- ECモール、同社サイトのネットショップを活用し、ニッチだが面白いオリジナル商品をロングテールで拡販
- 「山県市の木工製品」の技術を活用したインテリアとしての額縁の開発・製造に取り組む
- 大学生の6か月長期インターンシップ生を継続して採用し若者の成長と同社の挑戦に取り組む

企業基本情報

所在地	岐阜県山県市佐賀 159 番地の 1
電話 / FAX	0581-22-1230/0581-27-3190
U R L	http://www.yamamoku-gifu.com/
代表者	山田 等
設立	1951 年
資本金	—
従業員数	8 人



会社概要

同社は岐阜県山県市で 1951 年から木工所を営んでいる。本業であった家具やキッチン扉製作など、厳しい品質基準にも耐える製造技術を活かし、2010 年より手ぬぐいを飾る額の生産を開始した。

現在では、「お客様と共に、日本の壁を楽しくしたい」を合言葉に、ニッチではあるが面白い「豊かな住空間を演出・提供する」ために、多くの商品を開発し、販売を行っている。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

積極的に EC サイトを利用し、BtoB から BtoC への業態変化を実現

複数の大手 EC サイト運営事業者、自社サイト等のネットショップを活用してどれもニッチであるが面白い、従来市場にはなかった自社オリジナル商品を展開して、いつまでも細く長く購入していただけるいわゆるロングテール商品で販売拡大に取り組んでいる。

また、ブログサービス、SNS や顧客が商品を飾っている写真コンテスト等で、同社のファンづくりにも学生インターンが専任担当し取組を行っている。



高周波自動接着機

山県市の木工製品の技術を活用したインテリア製造で地域経済を活性

『「山県市の木工製品」の技術を活用したインテリアとしての額縁の開発・製造及び販路拡大』をテーマに掲げ「手ぬぐい額」「御朱印帳額」「モダン御神札額」など多数の新商品を開発している。製品開発時には、学生インターンにマーケティングを担当してもらい、市場ニーズにあった開発工程を実施している。岐阜県や山県市の行政とも連携し、地域の企業や神社仏閣にも協力してもらい地域経済活性化にも貢献。



テレビで採用

インターンシップを利用し、若い感覚を製品開発に活かしている

従業員の半数を女性従業員が占め、育児や家庭の事情に配慮した勤務体制やシニアの能力活用に努め、雇用環境の改善に取り組んでいる。さらに同社の大きな特徴は、県内外（東京、名古屋等）から大学生の 6 か月長期インターンシップ生を継続して採用し、若者ならではの視点による製品開発（御朱印帳額）とともに、同社内を活性化することで常に挑戦をする社風を築いている。近年では、学生の方から積極的な申し込みもあるという。



従業員集合写真